

# 楽しいイベントをやるよ

## 新春ぶっちゃけトーク

夏祭りや工作塾、山歩き、Xマス.....グループわは、子どもたちや市民、会員を対象に四季を通じてさまざまなイベントを提供しています。ボランティア活動としてのイベントはどうあるべきか。魅力あるイベントとは何か。わ本部事業担当の理事3人が、1年間を振り返って、イベント企画の現状と課題、これからの夢を大いに語りあいました。（写真は楽しいイベントをやるよと意欲に燃える一森・道満・岸本=左から）

出席者 岸本 清（生環14） 一森美代子（福祉12） 道満 俊徳（生環13）

### 年にざっと36件

道満 わ本部が主催したもので、この1年間にざっと36件のイベントをやっています。それらを振り返って、一番印象に残ったイベントはなんでしょうか。

岸本 やっぱり国際免疫学会の伝統講座（8月）かな。文化部会、国際部会、わ本部も総動員でした。140人もお客さんが来てくれたし、スタッフも毎日楽しそうにやっていた。事業担当になったばかりの私にとって、いい勉強になった。

一森 そうですね。私自身も参加していて、とても楽しかった。わいわいストリート、村の夏祭り、工作塾もたくさんのファミリーが来てくれ、大賑わいだった。（一同うなづく）

道満 かえっこバザールや国際学会では、常盤大もスタッフとして加わってくれ、運営面で幅が広がった。今後の運営の参考になる。逆に、主催者として反省点が残る、改善すべきイベントはありますか？

一森 うーん。むずかしい。人数だけでは割り切れない。未来館など動員はできないが中身はしっかりしている。フルーツパークや水の科学館など、先方の依頼でやっているものもある。

岸本 予約参加とフリー参加のイベントでは、雰囲気、質がずいぶん違う。フルーツパークなど、フリー参加の場合は、スタッフと参加者との一体感が乏しい気がする。参加数が予測できないので材料などの準備もむずかしい...

一森 現実には、参加者十数人というものもある。スタッフも落ち込みます。ここはシビアに改善の手をうたないと.....



### PRをもっとうまく

道満 わの弱いところは、PR方法が下手な点。いい企画だと思っても広く周知する手段がない。

岸本 “顧客名簿”はあるが古いし貧弱。これだけで人は集まらない。マスコミや自治体の広報紙をもっと利用したいですね。

一森 イベントの参加者にアンケートを取るとか、次回のチラシを配るとか。サークルに協力を頼んだり、児童館などに掲示をお願いする方法もある。

道満 今は、電子メールや携帯メールで流すことも考えないと。

岸本 常盤大とは一緒にやったことがあるが、親和女子大や神戸女子大も巻き込めないかな。若い女性の目線や気配りは、子どもたちにも喜ばれる。

道満 ところで、わの事業は何のために、どういうコンセプトでやればいいのか。私は健康増進、環境保全、伝承文化を重視してやってきたが。

一森 私は 他のために がすべての根っこにあるべきだと思いますよ。